

各位

上場会社名 ハイブリッド・サービス株式会社
 代表者 代表取締役社長 鳴海 輝正
 (コード番号 2743)
 問合せ先責任者 取締役経営企画部長 田淵 幸男
 (TEL 03-6731-3412)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年11月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,300	208	146	90	1,652.35
今回発表予想(B)	20,508	67	4	2	43.31
増減額(B-A)	△792	△141	△142	△88	
増減率(%)	△3.7	△67.8	△97.3	△97.8	
(ご参考)前期実績 (平成21年12月期)	21,903	211	176	68	1,249.09

※個別業績予想数値につきましては、投資情報としての重要性が大きいと判断されるため記載を省略しております。
 ※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

修正の理由

(1)売上高

当社グループの主力事業が属するオフィス用品業界のマーケティングサプライ品(プリンタ印字廻りの消耗品)市場におきましては、リーマンショックによる大幅な落込みからは脱したものの依然として企業の節約志向は根強く、不況のショックを皮切りに使用量が伸びず減少傾向が続いておりました。一方、環境関連商品の市場におきましては、太陽光発電システムの補助金や余剰電力の固定価格買取制度、省エネルギー照明補助金、優遇税制など様々な普及促進制度が政府によって導入され、市場規模は拡大しました。

こうした環境のもと、昨年度より取組んでおります環境関連商品のラインナップ拡充による売上の増加はあったものの当社グループの主力商品であるトナーカートリッジやインクジェットカートリッジが消費需要抑制や販売先の流通在庫調整の影響を大きく受け、売上高は前回予想を7億92百万円下回る205億8百万円を見込んでおります。

(2)営業利益

売上高の減少に加え、衛生マスク等の新商品について在庫の低価法適用により評価損68百万円を計上したこと等により売上総利益が減少し営業利益は前回予想を1億41百万円下回る67百万円を見込んでおります。

(3)経常利益

前述の理由により、経常利益は前回予想を1億42百万円下回る4百万円を見込んでおります。

(4)当期利益

前述の理由に加え、特別利益として貸倒引当金戻入益の計上と特別損失として当社のファシリティ関連事業に対するのれんの減損処理を行ったこと等により、当期利益は前回予想を88百万円下回る2百万円を見込んでおります。

※ご参考: 配当につきましては、前回予想のとおり期末500円(通期1,000円)の配当を実施する予定です。